

科目名	フォトアートⅣ			科目コード	1515
開講学科	写真学科	単位数	4	形態	演習
教員名	吉川直哉				
授業の目的及びテーマ					
フォトアートⅣでは、これまで学修した授業から習得した技術や知識をベースとしながら、現代の表現者としての根幹を育むために、先行作家の研究と自己への探求を基本としています。それまでの経験を大切にしながらも、既成概念を打ち破るような独創性に満ちた写真表現に挑むことが狙いです。					
授業概要					
写真は、人間の欲望の延長線上に必然的に求められ、開かれた視覚メディアとして19世紀に登場した若いメディアのひとつです。20世紀の後半から、その多様性に満ちた表現の発展は、社会の変革や技術の進歩などによって画期的な加速を見せています。フォトアートⅣでは、個人が表現することの根元を探り、また同時に、写真が持つ機能と拡張する写真表現の可能性を探求することを目標に作品制作を中心に授業を進めます。					
授業計画					
第 1 回：テキストから学ぶ（予習を含む） 第 2 回：先行作家の作品やその表現の魅力から学ぶ 第 3 回：過去に経験のない表現に挑戦する 第 4 回：今（時代）の自分自身と対峙する 第 5 回：写真史の中から自分自身を撮影した作品を探し出し、その目的や役割について考察する。 第 6 回：第1課題 ①ある先行作家（写真家）から影響を受けて、制作したシリーズ作品を制作する。 第 7 回：第1課題 ②その作品についてのステートメント（作品主旨や目的をまとめたもの）を書く。 第 8 回：第2課題 ①自由作品（ひとつのテーマに統一されたシリーズ作品であること）の制作。 第 9 回：第2課題 ②その作品についてのレポート（800字以上、必ず自身で題名を考える）を書く。 第10回：第1課題、第2課題の振り返り（自己点検） 第11回：面接授業 セルフポートレイトの研究（制作、問題点と可能性についての考察） 第12回：面接授業 写真表現におけるシリアス／ファニーについて 第13回：セルフポートレイト、シリアス／ファニーの作品についての振り返り 第14回：テーマとコンセプトの構築について（制作、問題点と可能性についての考察） 第15回：まとめ（通信授業、面接授業を通しての）と振り返り（復習）					
テキスト	「写真のキーコンセプト：現代写真の読み方」デビッド・ベイド 著・犬伏雅一 訳（フィルムアート社） 「写真のなかの『わたし』ポートレイトの歴史を読む」鳥原学 著（ちくまプリマー新書）		参考文献	面接授業などでその都度紹介する。	
評価方法：					
通信授業は提出課題2件を以って評価する。 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					